

# Iwao Furusawa

## 古澤 巖

### J.S.バッハ 無伴奏ヴァイオリンリサイタル

79年日本音楽コンクール第1位。82年桐朋学園大学首席卒業の夏、小澤征爾の推薦でタングルウッド音楽祭のコンサートマスターを務め、ルイ・クラズナー（ベルクの協奏曲進呈者）に室内楽を師事。

83年冬から政府給費留学生として全員奨学生のカーチス音楽院（フィラデルフィア）に編入、85年春に卒業。レナード・バーンスタインの超エンターテイメントと、セルジウ・チェリビダッケの悪魔の様な音楽の両極を学ぶ。85年夏よりモーツァルテウム音楽院（ザルツブルク）に移り、ハンガリーの鬼才シャンドール・ヴェーグ（2年間）、黒海からのユダヤ人ナタン・ミルシテイン（足かけ8年間）、パリのイブリー・ギトリス（4年間）の下で修業する。アバド・コンクール（ソンドリオ）第1位。

86年夏27才の時、大学1年の葉加瀬太郎と出会い、ジプシーバンド「ヴィンヤードシアター」結成。遂にヴァイオリニストになることを決める。88年、ソリストとコンサートマスターに就任（東京都交響楽団4年間）、世界ツアーに出る。在響中はヨー・ヨー・マとブラームスのドッペルコンチェルト等、様々な協奏曲を演奏する機会を得る。

2017年4月12日、アルバム「愛しみのフーガ〜Mr. Lonely」リリース。

オフィシャルブログ

<http://celebstyle.jp/iwao-furusawa/>

—— 本日の使用楽器 ——



#### Antonio Stradivari 1718 “San Lorenzo Ex Viotti”

A. ストラディヴァリウス 1718  
“サン・ロレンツォ Ex ヴィオッティ”

現存するストラディヴァリウスは約600挺と言われている中で最もユニークな作品の一つである。

サイドには“GLORIA ET DIVITIE”という文字の痕跡があり、バスバーサイドには、“IN DOMO EIUS”というはっきりとした文字が残っている。

このフレーズは旧約聖書の詩篇第111章第3節からの引用で、元はラテンで語で「Gloria et divitiae in domo eius et iustitia eius manet in saeculum saeculi」（栄光と富は神の家にあり、神の裁きは永遠である）とある。簡略化した抜粋が前述の一節（栄光と富は神の家にある）であり、ルネッサンス期には繁栄と富を願い、この言葉を様々な形で絵画や彫刻に入れていた。

Antonio Stradivari 1718 “SAN LORENZO Ex Viotti”はそんな願いを込めてストラディヴァリウス本人が書いたものであり、その言葉の通り、他のストラディヴァリウスの作品にはない思いが込められていると考えられる。 文：日本ヴァイオリン

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

### 宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は  
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

### 会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール（052-265-1715）までお問合せ下さい。

■交通アクセス  
地下鉄栄駅 ⑫番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

  
宗次ホール  
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター  
営業時間：10:00～16:00  
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業  
年中無休（年末年始、施設メンテナンス日を除く）